

看護を語る会

令和3年5月6日(木)に32期生39名が看護の道を歩むことを改めて誓う会に臨みました。厳かな雰囲気の中でひとりひとりが思いを込めた発表ができました。



昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止に努め、教職員、在校生が見守る中でそれぞれの目指す看護を発表しました。

2年生は、1年間看護の基礎を学び特に基礎看護学実習中に受け持たせて頂いた患者様との関わりを振り返り、今までの自己の行動や学習を見つめ直す機会となりました。そこでは自分の課題発見、新たな目標、自分の描く看護師像を明確にすることができました。50文字の中に学生それぞれの思いと決意がうかがえました。

ひとり一人の誓いとともにナイチンゲール像から灯火を頂き、患者さんへ分け隔てることなく、誠実で患者さんの尊厳を守り、人間愛を注いでこられたナイチンゲールの思いを受け継いでいって欲しいと思います。



第2部

各学年3名ずつでグループ編成をし、

「信頼される看護師とは

～どのようにしたら信頼関係を築くことができるのか～」というテーマでグループディスカッションを行いました。

学年を跨いで意見交換することで、視野が広がり、自己の考えを深めることができましたようです。2・3年生は次の実習に向けて気持ちを切り替えて頑張る気持ちを強く持つことができました。1年生はこれから必要な知識を身につけて看護師としての在り方を考えることができるディスカッションになりました。



誓いの言葉

それぞれの誓いを胸に
患者様のよき理解者となれるよう、常に謙虚な姿勢で看護を学び続けることを誓います。

今日の思いを大切に、患者様から信頼されるように、日々の学びを深め、慈しみに満ちた看護を期待したいと思います。

